

管内情勢

遠野市消防本部（以下「遠野消防」という。）は、北上高地の中南部に位置し、標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高300m～700mの高原群に囲まれ、管轄地域の多くは山林で、市域の中央に遠野盆地があり、中心市街地が形成されている。

四季が織り成す豊かで美しい広大な自然は、日本の原風景として全国の多くの人々に親しまれ、「遠野物語」に代表される歴史と文化を活かし、現在は「永遠の日本のふるさと遠野」として観光交流に取り組んでいる地域である。

遠野消防の組織及び予防業務体制

管内の人口は約25,000人、管内面積825.97km²、1本部・1消防署・1出張所、職員数は51名（条例定員53名）で構成されている。

予防業務体制は少し特殊で、消防本部では危険物施設に関する業務のみ行い、その他の予防業務である建築確認同意事務、消防用設備等の審査・検査・各種届出事務、火災予防啓発団体事務、防火対象物立入検査及び違反是正業務については、遠野消防署予防係が係長以下7名で行っている。

市民のために他力本願 ～助けて、アドバイザー！～

遠野市消防本部 遠野消防署 予防係長 菊池丈文

遠野物語「荒神様」



3つの重大違反防火対象物

遠野消防は長年に渡って重大な消防設備違反を継続している3つの重大違反防火対象物を抱えていた。

今回はその違反対象物に対して違反是正支援アドバイザー制度（以下「アドバイザー制度」という。）を活用し、命令を発令し是正に至った事例を紹介する。

それぞれの防火対象物の概要は以下のとおりである。

①酒類販売店舗併用住宅（16項イ）

- ・構造階数：木造一部RC造 地上3階地下1階
- ・延べ面積：1,105.05㎡
- ・違反内容：自動火災報知設備未設置
- ・違反経緯：平成15年の法改正により立入検査時に違反を確認。

②家具販売店舗（4項）

- ・構造階数：鉄骨造 地上3階
- ・延べ面積：1,220.84㎡
- ・違反内容：屋内消火栓設備未設置、自動火災報知設備型式失効
- ・違反経緯：隣接して所有する2つの店舗の1階及び2階を接続し、平成2年の立入検査時に違反を覚知。併せて自動火災報知設備の型式失効を確認。

③金物販売店舗（16項イ）

- ・構造階数：鉄骨造 地上3階地下1階
- ・階別用途：1階店舗、2階店舗、3階会議室
- ・延べ面積：342.45㎡
- ・違反内容：自動火災報知設備未設置
- ・違反経緯：平成15年の法改正により特定一階段等防火対象物に該当し自動火災報知設備の設置義務が発生。

いわゆるひとつのPTSD

私が新任消防士として予防係に配属された二十数年前、上司とともに上記の1つである重大違反防火対象物へ立入検査に行ったことである。建物に入ると上司は建物内を見て歩くこともせず、そのまま事務室に向かい、所有者の半ば強引な世間話を延々と聞かされる。話が

ひと段落したタイミングで上司は申し訳なさげに「繋いだ建物を切り離すか、屋内消火栓設備の設置をお願いしたいのですが」と発した言葉を皮切りに所有者は血相を変えて、「そんな無駄な金は1円たりとも出せねえじえ！」「お前らは俺らの血税で飯を食わせてもらってんだがら、金の大事さなんかわかんねーのよ」「なんじょしても付けろって言うんなら、店を閉めるしかねえなあ」「あと5年経ったらやめっからよ」「今この時間が無駄なのす、もう帰れじゃ」と矢継ぎ早に捲し立てられて追い出された記憶が、昨日のことに思い出される。

そのような環境下にいると、屋内消火栓設備の違反是正は難しく、閉業を待つしか方法がなく、是正は困難であると思ひ込む。後ろめたい気持ちの中で、都合の良い言い訳を探す日々を過ごした。

違反是正担当に…

私はその後数年間、様々な部署を渡り歩きながら、平成30年に3度目の予防係配属となる。令和2年度からは係の主査として違反是正業務を担当する。業務の中で県へ重大違反防火対象物の状況等を報告する際、長年続く重大違反対象物が遠野消防管内に3件あるが、コロナ禍のため違反是正は様子を見ると県に報告した。コロナ禍という言葉を使い、また大事なところから逃げている自分にとっても嫌気が差していた。

その矢先、偶然にも県内各消防本部の調査結果を閲覧する機会があり、10年以上続く重大違反防火対象物の違反是正を進めていない消防本部が遠野消防だけであることが発覚した。それを見て当時の係長と「今までずっと逃げてきた違反是正だけど、このままでは消防として本当にダメだ。本気で腹を決めてやるべ」と話し合い、とうとう違反是正に踏み切ることとした。

困った時のアドバイザー制度

いざ違反処理に踏み切ろうと決意したものの、何から手を付け始めればいいのか不安になる。やらなければいけないけれども、はじめの一歩がな



遠野物語「オシラサマ」

かなか踏み出せない。そのような状態の中、都道府県の違反是正支援アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）である盛岡地区広域消防組合消防本部（以下「盛岡消防」という。）の小西予防係長と話をする機会があり、その際に小西係長から「遠野消防さんの抱えている重大違反対象物の違反処理について、アドバイザー制度を利用する気はありませんか？」と声をかけていただいたのがきっかけとなった。

警告すらしたことがない私たちからすると、そのハードルの高さはまるで棒高跳びのバーの高さにあり、私たちはその高さに棒を持たずに挑むかのような感覚であったが、そんな気持ちを察してか、小西アドバイザーから「警告は比較的どの消防本部も早い段階で発令しており、それなりに効果もある。これだけの違反が長年続いているのだから、警告は速やかに行うべきです」と私たちの背中を力強く押していただいた。

今回アドバイザー制度の利用を申請するタイミングを相談した際、各防火対象物の是正状況から、警告では事業主は是正しないだろうと予測し、命令に移行する直前がベストであると決め、警告の発令は自分たちで行うこととした。

また、盛岡消防と電話で打ち合わせを重ねる中、小西アドバイザーの紹介で、当時全国アドバイザーであった仙台市消防局の安田氏に直接助言を頂く機会を作っていただき、貴重なアド

バイスを受け、それを基に是正を進めることもできた。

令和4年3月18日、3件の防火対象物の事業主を消防本部に呼び出し、3か月後は是正期限とし警告書を交付した。交付の際、それぞれの事業主の様子は、薄ら笑いを浮かべる者、不満を述べ続ける者、終始うつむき加減の者と、三者三様の対応を見せていた。警告書を交付した同日に違反対象物公表制度による違反対象物として、市のホームページで公表した。初めてのことであったが、違反是正というゴールに向かって第一歩を踏み出した瞬間であった。

警告書交付後の3か月間は、定期的に3件の違反対象物へ訪問及び電話連絡を取りながら是正を促し、命令に向け着々と準備を進めた。

事前協議で地盤固め

3件の違反対象物のこれまでの経緯及び概要を盛岡消防本部へ出向き説明し、同じくアドバイザーである盛岡消防の佐藤係長から、違反処理の基本となる手順をきめ細かく指導を受ける。佐藤係長から、「警告期限のギリギリに3件の違反対象物に行き、その場で是正状況を確認し見分調書を作成することでアドバイザー制度を上手に利用できるでしょう。是正されていれば現状を確認し警告解除の判断のサポート。もし未是正の状態であれば、時期を逸することなく命令に移行するサポートができます」との助言を受けて方針を決定した。

警告の履行期限が令和4年6月18日のため、現地調査は直前の3日間とし、3件の違反対象物をそれぞれ1日ずつ、私たち遠野消防署予防係、アドバイザー4名で違反対象物への現地調査を実施し、違反是正に取り組むこととした。

いざ、決戦の3日間！

令和4年6月15日、アドバイザーとの防火対象物現地調査の初日を迎える。盛岡消防にはアドバイザーが4名在籍しており、先に述べた2名のアドバイザーのほか、小笠原係長、横田主査も加わり、4名のアドバイザーのうち2名が日替

わりで現地調査に出向する。また、盛岡消防の内部研修を兼ねて予防業務に従事する職員3～4名が参加する。遠野消防は私以下7名の予防係員で対応する。

1日のタイムスケジュールは以下のとおりである。

09:00～11:30	事前ミーティング
12:30～13:00	出向準備・移動
13:00～15:00	現地調査
15:00～16:00	事後ミーティング

9時から11時30分までの事前ミーティングでは、防火対象物の概要、違反の経緯や警告後の改修内容等について情報共有をし、命令に移行する必要があるのかなどについてあらためて検討するために、それぞれの防火対象物の確実な情報、違反処理の適法性、用途判定等の判定に誤りがないかを全員で確認する。

その後、現地調査時の班編成をする。これは現地調査時において、時間を掛けすぎることに伴うトラブルの回避及び調査の効率化を図る目的がある。

1つ目の班は「質問調査班」である。命令に必要な質問調査を作成するため、事業主から聞き取りを行いながら、違反是正方針を検討する。質問調査班にはアドバイザー1名が入り対応する。

2つ目の班は「実測班」である。建物の間取り、及び開口部を測り図面を新たに作成することにより、現在の建物の面積が確認できる。古い建物や増改築が曖昧であっても、実測で解決する。また、事前ミーティングの結果、過去の無窓階判定の書類の内容が不十分であると判断し、開口部の実測も併せて実施する。

3つ目の班は「撮影班」である。消防用設備等が防火対象物内に設置されていない状況を記録し、増改築の様子についても撮影する。これは見分調査に直結する作業のため、アドバイザー1名が入り対応する。

それぞれの班が、入念に現地での手順の確認や、ポイントとなる部分をまとめながら、行動を

シミュレーションし事前ミーティングを行う。違反是正のプロであるアドバイザーは私が行った防火対象物の概要説明を一度聞いただけで、無意識に調査を避けてきた部分の情報不足や曖昧さを指摘した。自分では熟知しているつもりだった防火対象物についての情報が、命令をするためには不足していることが明らかになった。その鋭い指摘に私は冷や汗を流しながら対応する。アドバイザーからは「情報不足の部分は、現地で調査をすればいいだけです」「ミーティングで不明な部分や曖昧な部分をリストアップすることは、ミスをなくすために大切なことです」と冷静に、的確に、そして心優しく指導を受ける。

調査隊、現場到着

現地に到着すると事業主が待ち構えており、目くじらを立ててこちらを凝視していることが遠目からでも容易に伺える。私もすぐに大勢で訪問したことに不快感を示していることを理解する。もちろん事前連絡時に、人数やアドバイザーが同行する話は許可を取っていたが、実際に対面すると事業主から、「8人程度って言ったろ、10人もいるじゃないか!」「数で威圧しに来たのか! 商売の妨害だべ!」と捲くし立てられる。私も、調査を拒否されては元も子もないため、全力の低姿勢で説明をする。

調査内容が多いため、手分けして短時間で調



事前ミーティングの様子

査を済ませるための人数であること、最善策を見つけるための調査であることなどを説明すると、次第に怒りのボルテージが下がり、無事に調査の開始となる。

私は質問調査班としてアドバイザーとともに事業主から聞き取りを行う。ひとつひとつを順序立てて質問しながら、客観的な事実をまとめ、その中で是正方法を考える。事業主は、私たち地元の消防に対する一種の敵対心からなのか、地元消防を非難し明らかにアドバイザーが話す内容に共感し、耳を傾ける構図ができあがる。すかさずアドバイザーが「設備の設置一辺倒の是正指導ではなく、営業形態や建物の使用形態を鑑みて、少しでもコストがかからない方法や設置義務が発生しない建物の使用形態など、業務の見直しをご提案します」と切り出す。事業主も「1円でも経費を抑えられる方法があるのなら話を聞きたい」と、身を乗り出してくる。現状に合った建物の使い方を提案し、「一緒に解決していきましょう」という事業主に寄り添った違反是正の提案は、「永遠の日本のふるさと遠野」と呼ばれるほど田舎である遠野の防火対象物には丁度良い内容の提案であった。

話をしているうちに実測班及び撮影班が任務を完了し現場調査を終える。警告期限内に是正が認められないため、命令書を後日交付することを告げ、現場を引き揚げる。

帰署後には現地調査結果をミーティングで共有し、曖昧な資料で検討されていた無窓階判定等の情報を明確にし、それぞれの建物に最善となる是正案を導き出した。

遠野消防初の3件同時命令へ

令和4年7月21日、3件の違反対象物に対し、遠野市消防本部初となる命令書の交付を行った。それと並行して是正案を複数提示し、是正を進めた。

命令を行った2件の違反対象物にあっては、順調に是正に向かって進んだが、もう1件の違反対象物は命令を受けても是正する意思がなく、催告書を交付し告発に向けて地元の警察に相談



現地調査の様子

をする状態まで進んだが、告発の手前で是正させることができ、令和5年3月30日、命令をしていた全ての違反対象物の違反是正が完了し、命令解除となった。

本気で違反是正に向き合ってから1年半、消防人生でこんなにも内容の濃い日々を過ごしたことはなく、こんなにも達成感を味わうことができるとは思ってもいなかった。

まとめ

数年前まで違反是正を心の底からあきらめていた私たちが、重大違反防火対象物に対して3件同時命令からの違反是正を達成したことは、上司や仲間たちが一丸となって取り組む体制を作れたということもあるが、私たちだけではこのように違反是正を成しえることはできなかったと感じている。これもひとえにアドバイザー制度という力強いバックアップ制度と、都道府県アドバイザーである4名の盛岡消防アドバイザーのお力添えのおかげである。遠野市民の安全安心のためにご尽力いただき感謝の念に尽きる。

また、私たちのようになかなか違反是正に踏み切れない全国の消防本部の方々がおりましたら、ぜひアドバイザー制度の活用をご検討されてはいかがでしょうかと胸を張ってご提案させていただき、文末の言葉とする。